()加林宋式(23)										
ф + v	エクー			リハビリテーシ / 里 · # \			社面部/F中华 2 /	/-	,	
<u>患者氏名</u> 算定病名			治療	」(男・女) 内容	上年齢 (歳)	計画評価実施日 (発症日·手術日 (<u>年</u> 年	<u>月日)</u> 月日)	
72//3 []							リハ開始日(牟	月 日)	
				理学療法 口作	作業療法 🗆] 言語療法	林리 사리 東西			
併存疾患・合併症 安静度・リスク 安静度・リスク						-	禁忌•特記事項			
心身機能・構造 ※関連する項目のみ記載										
□ 意識障害(JCS・GCS) □ 関節可動域制限 ()										
	吸機能障 □ 酸素療		min 口気切	口人工呼吸器	□ 拘縮·変用 □ 筋力低下)	
□ 循	環障害				□ 運動機能	障害			,	
	□ EF()% □	不整脈(有・無	€)	(□ 麻痺 □ 不随意運動 □ 運動失調 □ パーキンソニズム) □ 筋緊張異常 ()					
	。 高血圧症	□ 脂質異常症 □	糖尿病 🗆	喫煙	□ 感覚機能障害(□ 聴覚 □ 視覚 □ 表在覚 □ 深部覚)					
	肥満	□高尿酸血症□			□ 音声・発話障害					
	狭心症 {食嚥下障	□ 陳旧性心筋梗图 実 (Ĕ □	その他)	(□ 構音 □ 失語 □ 吃音 □ その他()) □ 高次脳機能障害(□ 記憶 □ 注意 □ 失行 □ 失認 □ 遂行)					
口第	養障害	(ý	□ 精神行動	障害()	
日排口複	泄機能障	害()	□ 見当識障□ 記憶障害)	
		()	□ 船億障害				,	
□ そ	の他	()	(口自閉ス	くへ゜かうム症 [□ 学習障害 □ 注意	欠陥多動性隊	章害)	
				基本	動作					
	返り	(口自立 口一部介		非実施)	□ 座位保持		□一部介助□介			
		(口 自立 口 一部介 (口 自立 口 一部介)			□ 立位保持 □ その他	(口 自立 (□ 一部介助 □ 介	切 🗌 非実抗	他 <i>)</i> \	
		<u>活動(動作)(実行状</u>				<u> </u>	使用用具及	7 \$	/	
		項目	得			<u> </u>	使用用具及 介助内容			
		食事	FIM →	10·5·0 —						
		整容	\rightarrow	5.0 -		1				
		清拭・入浴	\rightarrow	5.0 –	→ 5 · 0					
	ケア	更衣(上半身) 更衣(下半身)	→ →	10.5.0 -	→ 10·5·O					
		トイレ	→	10.5.0 -	→ 10·5·0					
væ.	排泄	排尿コントロール	\rightarrow	10.5.0 -						
運動		排便コントロール ベッド、椅子、車椅子	→ →	10.5.0 —	→ 10·5·0					
到	移乗	トイレ	→	15.10 _	15•10					
		浴槽・シャワー	\rightarrow	•5•0	·5·0					
	移動	歩行 (杖•装具:)	\rightarrow	15•10	15•10					
		車椅子	•	•5•0	·5·0					
		階段	\rightarrow	10.5.0 -						
	小計(F コミュニ	TIM 13-91、BI 0-100)	\rightarrow)	<u> </u>				
	ケーション	表出	→	┨ \						
認		社会的交流	\rightarrow] \						
知	社会認識	<u>問題解決</u> 記憶	→ →	⊣ `						
	小計(F	1611思 FIM 5-35)	→ →	-						
	合計	(FIM 18-126)	\rightarrow							
			表(※同復期11八	ビリテーション病材	重 λ 陰料1を質	(定する提会)	十心ず記入)			
基礎	情報									
栄養	補給方法((複数選択可) □ 経口	: (口食事口	補助食品) 口糸	Y 全管栄養 □] 静脈栄養:	(口末梢 口中心)	□ 胃ろう		
		必要性: (口 無 口 回 無 口 回 問題なし		-ト)) □ 低栄養リスク	カーロ 過栄	養 口子	その他()	
【上訂	己で「問題な	よし」以外に該当した場	合に記載】			_			,	
	栄養量 取学差景/	経口・経腸・経静脈栄養の合計		()kcal	タンパク質 タンパク質	[量 (f 是 () g) g			
100125	以不食里(経口・経肠・経酵脈末後の言言					<u>/ / R</u> 、院直後等で不明な場合	は総提供栄養	量でも可	
社会保障サービスの申請状況 ※該当あるもののみ										
口要	介護状態区			<u>草サーヒスの甲請</u> 身体障害者手帳			□ 療育手帳・愛護手帧	長 □その作	也(難病等)	
	申請中	□ 要支援状態区分(□	1 🗆 2)			健福祉手帳				
□ 要介護状態区分(□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5) 種 目標(1ヶ月) ■					<u>級 </u> ┃目標(終了問	<u>級</u> ≒)┃	<u>障害程度</u> □ 予定 7	 、院期間()	
Н 12	*(1//1/	<u></u>		口际小门	17	□退院外)		
□ 長期的・継続的にケアが必要										
治纲	泰方針(リノ	<u>、</u> ビリテーション実施方	針)		治療内容(リハビリテーシ	ション実施内容)			
リハ担当医 主治医 説明を受けた人:本人、家族()							『族() 説明日:	年	月 日	
理学療法士 作業療法士					署名					
	言語聴覚士 看護師									
				_						
説	説明者署名 									
					1					

	目標 ※該当する項目のみ記載する	具体的な対応方針 ※必要な場合記載する
	□ 居住場所 -□ 自宅(□ 戸建 □ マンション) □ 施設 □ その他()	NI II NOVING SELECTION OF THE PARTY OF
44.1-	□ 復職 □ □ 現職復帰 □ 配置転換 □ 転職 □ 不可 □ その他() □ □ 通勤方法の変更	
参加	 □ 就学・復学・進学 □ 可能 □ 就学に要配慮 □ 不可 □ 表の他(□ 放学に要配慮 □ 通学方法の変更(□ 次庭内役割(□ 社会活動(
	□ 趣味 () () () () () () () () () (
活動	□□ 自立 □ 介助 □ 非実施 □□ 接具・杖等 □ 環境設定 □□ 自立 □ 小助 □ 非実施 □□ 表具・杖・車椅子等() □□ 表異・杖・車椅子等() □□ 表別車運転 □ 介助 □ 非実施 □□ 自立 □ 介助 □ 非実施 □□ はき動作 □ カテーテル) □□ 種類(□ 介助 □ 非実施 □□ は移乗以外) □□ 自種類(□ 洋式 □ 和式 □ その他()) □□ を容 □ □ か助 □ 非実施 □□ おおしての場合 □ かり □ ままたは経管 □□ を容 □ 自立 □ つかり □ ままたは経管 □□ 表容 □ 自立 □ 介助 □ ままた □ ののしままたは経管 □□ 表容 □ 自立 □ 小り □ □ 小り □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
	- □ 自立 □ 介助 - □ コミュニケーション機器 □ 文字盤 □ 他者からの協力	
	対応を要する項目	具体的な対応方針
心理	□ 精神的支援 ()) □ 障害の受容 ()) □ その他 ()	会性叩(4対ルカ町
	□ 自宅の改築等 () □ 福祉機器の導入 () □ 社会保障サービス	
環境	□ 仕芸味障リーに入 □ □ 身障手帳 □ 障害年金 □ 難病・小慢受給者証 □ その他() □ 介護保険サービス □ □ 通所リハ □ 訪問リハ □ 通所介護 □ 訪問看護 □ 訪問介護	
	□ 老健 □ 特養 □ 介護医療院 □ その他() □ 障害福祉サービス等 □ 加課後デイ □ 児童発達支援(医療・福祉) □ 生活介護 □ その他	
	□ その他 () □ 退院後の主介護者 ())	
第三者の 不利	□ 家族構成の変化 () □ 家庭内役割の変化 () □ 家庭の社会活動変化 ()	